

慈道裕治理事長が第 11 回日本の次世代リーダー養成塾を訪問しました。



8/5 日 於 宗像グローバルアリーナ にてマハティール元首相(右)と慈道理事長

### 第 11 回日本の次世代リーダー養成塾

全国から 170 名の高校生がアジアについて論議を重ねました。アジア 6 カ国からも 17 名が参加し未来のアジア像に大きな提言を行いました。

この「日本の次世代リーダー養成塾」は日本経団連榊原会長を塾長に榊原英資・青山学院大学教授を塾長代理に、日本だけでなく、世界に通用する人材育成を目指した高校生のためのサマーキャンプです。2004 年に開塾今回は 11 回目を数えます。

東明館からは今回 5 名の生徒が選ばれました。通算でも全国でトップの参加数を誇っています。今回のメインは「アジアハイスクールサミット」・・・「高校生が考えるアジアの未来」・・・というテーマで今後のアジアの国々がどのように協力してよりよい世界を作り上げるかが論議されました。

8 月 5 日はマハティール・モハマド／元マレーシア首相の講演でした。「次世代リーダーはいかに世界に貢献できるか」という演目で「戦争を起こしてはならない」と訴えられました。塾生は感動とともに聴講していました。

その後の昼食会にはマハティール元首相・加藤暁子（次世代リーダー養成塾事務局長）谷井博美（宗像市長）と親しく懇談する慈道理事長の姿がありました。

東明館の「世界に通用する 18 歳を育てる」グローバル展開に大きな期待が広がります。